

《総務部 平成29年度予算見積方針》

部内マネジメント責任者

部長	岸本宗之		
----	------	--	--

予算見積にあたっての基本的な考え方および重点事項

【施策全体の方向性、基本的な考え方】

総務部は、市役所内の内部管理業務と税務関係(賦課・徴収)業務を行っており、「市民にわかりやすく適切な行財政マネジメントの推進」と「第3次草津市行政システム改革推進計画」アクション・プランの着実な推進を図ります。

- ◆公共工事や物品等の適正な入札および契約を行い、公正で透明性の高い行政運営を進めます。
- ◆草津市公共施設等総合管理計画の一環としてファンリティマネジメントの手法を取り入れた公共施設管理を進めます。
- ◆健全な財政の堅持とその根拠となる自主財源である市税の適正な賦課・徴収および適正な債権管理を徹底します。

【重点事項】

- ◆建設工事における入札事務の透明性・公正性・競争性の向上を図り、発注者受注者双方のコストを削減するため、電子入札システムの利用継続をします。
- ◆公共施設の長寿命化と保全費等の縮減や平準化を図るため、公共施設の計画的な修繕や改修を進めます。
- ◆歳入の根幹を成す市税および国民健康保険税の適正な賦課に努めるとともに、滞納整理の早期着手・早期処分を進め、税の公平性の確保や納税意欲の高揚と収納率の向上を目指します。

【見 積】平成29年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		平成29年度予算の特徴
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
総務課	403,046	373,632	○建築基準法で定められた建築物の点検等を実施します。 ○地方公会計制度の適正な運用を行います。 ○検査員の資質向上を図り公共工事における成果物のより適正な品質確保を目指します。 ○より一層、市税の適正な賦課に努めます。 ○市税徴収のより一層の強化を図ります。
財政課	4,770,399	4,596,871	
契約検査課	6,196	6,196	
税務課	143,687	89,692	
納税課	167,168	131,000	
合 計	5,490,496	5,197,391	

【前年度】平成28年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額(千円)		
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
総務課	529,259	446,886	
財政課	4,902,464	4,693,087	
契約検査課	6,705	6,705	
税務課	208,468	153,755	
納税課	166,387	123,677	
合 計	5,813,283	5,424,110	

【増 減】(【見 積】-【前年度】)

所 属	予算額(千円)		予算額の主な増減理由
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
総務課	▲ 126,213	▲ 73,254	○財務会計システムリース料減少に伴う経費減
財政課	▲ 132,065	▲ 96,216	
契約検査課	▲ 509	▲ 509	
税務課	▲ 64,781	▲ 64,063	
納税課	781	7,323	
合 計	▲ 322,787	▲ 226,719	

主要な事業(新規・拡大・重点事業等) (一般会計および特別会計)

事業名	事業費(千円)	一般財源		事業概要
賦課徴収費	1,076	1,076		新たな納付手段としてクレジットカード払いによる収納を導入することで、納税者の利便性の向上を図り、納期内納付率および収納率の向上につなげます。
契約審査等事務費 (契約審査等事務費)	6,196	6,196		建設工事における入札事務の透明性・公平性・競争性の向上と今後見込まれる入札制度の複雑化や業務量の増大に対応するため、電子入札システムの利用継続を図ります。

枠配分額(当該経費に係る予算見積上限額)に対する見積状況

所 属	一般行政経費(千円)			扶助費(千円)			枠配分額を超過した場合、その理由
	A 枠配分額	B 見積額	A-B ▲は枠超過	A 枠配分額	B 見積額	A-B ▲は枠超過	
総務課	169,948	188,340	▲ 18,392			0	
財政課	10,435	10,435	0			0	
契約検査課	3,516	3,694	▲ 178			0	
税務課	25,662	23,765	1,897			0	
納税課	1,666	0	1,666			0	
			0			0	
			0			0	
合 計	211,227	226,234	▲ 15,007	0	0	0	

マネジメントの視点による財源配分、事務事業の見直し等の考え方について

<p>●アウトソーシング 自治体債権の管理・回収に精通した弁護士チームへの相談業務委託</p>
